

◎予防接種法施行令（昭和23年7月31日政令第197号）～抜粋～

（定期の予防接種を行う疾病及びその対象者）

第1条の2 法第3条第1項の政令で定める疾病は、次の表の上欄に掲げる疾病とし、同項（予防接種法の一部を改正する法律（平成13年法律第116号）附則第3条第1項の規定により読み替えられる場合を含む。）の政令で定める者は、同表の上欄に掲げる疾病ごとにそれぞれ同表の下欄に掲げる者（当該疾病にかかっている者又はかかったことのある者（インフルエンザにあっては、インフルエンザにかかったことのある者を除く。）その他厚生労働省令で定める者を除く。）とする。

表（麻しん、風しんのみ抜粋）

疾病	麻しん		風しん	
	一	二	一	二
定期の予防接種の対象者	生るまで十二月かから生る後二十四月に 至るまで十の間にある者 五歳以上七歳未満の者であつて、	小学校就学の当始期に達する日の前 前日間の間に該期に達する日の前 日までの間に該期に達する日の前	生るまで十二月かから生る後二十四月に 至るまで十の間にある者 五歳以上七歳未満の者であつて、	小学校就学の当始期に達する日の前 前日間の間に該期に達する日の前 日までの間に該期に達する日の前

予防接種法（昭和23年6月30日法律第68号）

（定期予防接種の実施）

第3条 市町村は、一類疾病及び二類疾病のうち政令で定めるものについて、当該市町村の区域内に居住する者であつて政令で定めるものに対し、保健所長の指示を受け期日又は期間を指定して、予防接種を行わなければならない。

◎予防接種実施規則（昭和33年9月17日厚生省令第27号）～抜粋～

#### 第4章 麻しん及び風しんの予防接種

（第1期予防接種）

第13条 麻しんの第1期の予防接種は、乾燥弱毒生麻しんワクチンを1回皮下に注射するものとし、接種量は、0.5ミリリットルとする。

2 風しんの第1期の予防接種は、乾燥弱毒生風しんワクチンを1回皮下に注射するものとし、接種量は、0.5ミリリットルとする。

3 麻しん及び風しんについて同時に行う第1期の予防接種は、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンを1回皮下に注射するものとし、接種量は、0.5ミリリットルとする。

（第2期予防接種）

第14条 麻しんの第2期の予防接種は、乾燥弱毒生麻しんワクチンを1回皮下に注射するものとし、接種量は、0.5ミリリットルとする。

2 風しんの第2期の予防接種は、乾燥弱毒生風しんワクチンを1回皮下に注射するものとし、接種量は、0.5ミリリットルとする。

3 麻しん及び風しんについて同時に行う第2期の予防接種は、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンを1回皮下に注射するものとし、接種量は、0.5ミリリットルとする。